

令和4年度 下期
大分県地域年金事業運営調整会議資料

令和5年2月3日



日本年金機構

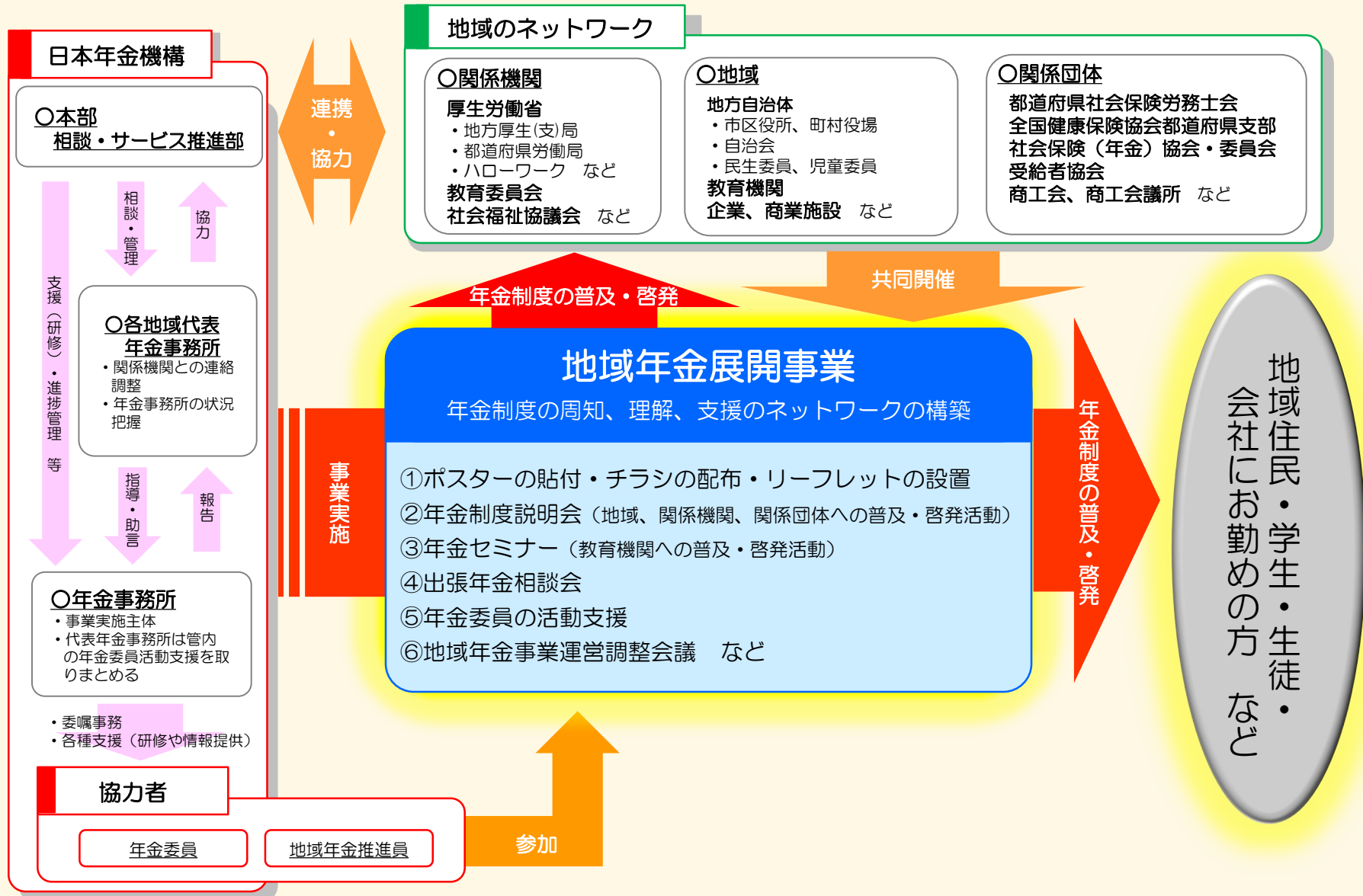
Japan Pension Service

目次

1. 地域年金展開事業の概要	1～ 3
2. 令和4年度事業実施状況報告（令和4年4月～令和4年12月）	4～ 25
3. トピックス	26～27
4. 参考資料	28～32
(1) 大分県の厚生年金保険・国民年金保険の状況	
(2) 各年金事務所の国民年金被保険者数及び納付状況	
(3) 地域型年金委員数の推移（令和4年4月～令和4年12月）	
(4) 職域型年金委員数の推移（令和4年4月～令和4年12月）	

1. 地域年金展開事業の概要

地域年金展開事業の概要



地域年金展開事業の主な取り組み

- 公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納率の向上等のため、関係機関との連携協力のもと、「年金制度説明会」や「年金セミナー」「出張年金相談」等を実施します。
- また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる「地域年金事業運営調整会議」を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

地域連携事業

- 職員が自治体や民間企業、関係機関、関係団体等に対し、オンラインまたは対面により、事務担当者や従業員・所属員・加入員向けの年金制度説明会を実施。
- 市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ、年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配布の依頼等。

年金セミナー事業

- 年金事務所職員が高校、大学、専門学校等に対し、オンラインまたは対面により、生徒・学生向けの年金セミナーを実施。もしくは年金セミナー用動画（DVD）を配付。
- 大学での年金相談、学生納付特例制度の申請窓口の開設、パンフレットの設置、配布の依頼等。

地域相談事業

- 年金事務所から遠方の地域住民の利便性やニーズに合わせるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

年金委員 活動支援事業

- 年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシなど活動に役立つ情報を提供。

地域年金事業 運営調整会議

- 公的年金制度の普及・啓発などの検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関の職員などを委員として都道府県単位で設置。

2. 令和4年度事業実施状況報告

(令和4年4月～令和4年12月)

○地域連携事業

計画

実績

総括及び課題

- ① 市町村や官公庁に対し、窓口での年金制度に関するポスターの掲示及びリーフレットの設置等を依頼し、地域住民への情報提供の充実を図る。
- ② 市町村広報誌等を活用し、年金制度や出張相談にかかる周知を行う。
- ③ 市町村職員への研修、説明会を定期的に実施する。

- ① 市町村や官公庁に対し、年金生活者支援給付金や新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた各種対策に関するポスターの掲示及びリーフレットの設置等を依頼し、地域住民への周知広報を実施した。
また、市町村や地域型年金委員に日本年金機構アニュアルレポートを送付し、事業運営の状況や目標の達成状況について報告を行った。

- ② 市町村広報誌へ出張相談の日程などの年金に関する記事を提供し、地域住民への広報を行った。

- ③ 市町村職員への研修を以下のとおり実施した。

実施日	事務所	対象市町村	参加数
R4.6.9	別府	別府市、中津市、豊後高田市、日出町	4名
R4.6.15	別府	宇佐市、姫島村	3名
R4.6.29	佐伯	佐伯市、津久見市	9名
R4.11.29	日田	日田市、九重町	7名
R4.12.8	日田	日田市、玖珠町	2名
R4.12.16	大分	豊後大野市	6名

- 市町村の担当者が、日頃の業務の中で難しいと感じていること、疑問に思っていることが少しでも解決できるよう、実践的な研修となるよう努める。
- 国民年金の適用・収納については、市町村との緊密な連携が不可欠であるため、オンラインの活用を含め研修会や意見交換の機会の充実をさらに進めていく必要がある。また、年金受給者を増やすことが生活保護者を減らすことにつながることで各市町村の財政にも直接影響することも併せて説明していく。

計画

実績

総括及び課題

④ 市町村担当職員向け情報誌を定期的に発行し、制度改正や事務処理上の留意点について情報提供を行う。

④ 市町村担当者向け情報誌「かけはし」を定期的に発行し、制度改正や事務処理上の留意点について、タイムリーな情報提供を行った。
送付時期：5月、7月、9月、11月（奇数月に発行）

九州厚生局との共催により、九州管内市町村職員への事務説明会を開催した。新型コロナウイルス感染症対策として、昨年度同様、機構のテレビ会議システムを活用し博多年金事務所から発信する方法で大分県内の各年金事務所で開催した。

開催日：令和4年11月29日及び12月8日
テーマ：支援給付金に係る交付金事務について
国民年金に係る適用事務等について
障害年金について

○ 市町村の事務担当職員へ事務処理に効率的な情報を提供していくため、市町村職員の研修会などを通じて意見集約し、情報発信に努める。



計画

実績

総括及び課題

市町村・官公庁

⑤ 国税局・税務署へ広報チラシの設置を依頼する。

⑤ 確定申告時の窓口混雑緩和のため、大分県内税務署に対し「年金受給者の源泉徴収票再発行手続き」及び「国民年金保険料控除証明書再発行手続き」に関するチラシの設置依頼を令和5年1月末実施予定。



全国健康保険協会

- ① 定期的に連絡会議を開催し、情報共有を図る。
- ② 機構及び全国健康保険協会の業務にかかる研修会を相互に実施する。
- ③ 全国健康保険協会と共催で年金委員功労者表彰式を開催する。

- ① 令和4年8月26日（金）
日本年金機構・全国健康保険協会大分支部連絡会議
- ② 実施企画の協議は行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった。
- ③ 令和4年11月18日に年金委員・健康保険委員功労者表彰式を開催した。
※ 詳しくはP 23「ねんきん月間」及び「年金の日」における取り組みで報告

○ 厚生年金保険の適用に伴う保険証の発行や、健康保険の給付と年金の給付など、相互に関連する業務について理解を深めることは、お客様サービスの観点からも非常に重要であることから、引き続き連携強化を図る。また、来年度は対面式による令和5年の算定基礎届に係る事務講習会において合同研修とするか検討中である。

計画

実績

総括及び課題

社会保険労務士会

- ① 定期的に連絡会を開催するとともに、適宜情報提供を行う。

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響もあり最小限での開催となった

実施日	場所	主な議題	参加数
R4.7.17	大分年金事務所 会議室	年金相談	4名
R4.9.1	大分年金事務所 会議室	電子申請	6名

- ② 会員に対する研修会を開催する。

- ② 新型コロナウイルス感染症の影響もあり開催できていない

- 受給開始時期の選択肢の拡大や被用者保険の適用拡大などの大きな制度改革がありました。機構の事業推進には社会保険労務士会との連携が不可欠であることから、さらに協力連携を進めていく。

社会保険協会

- ① 社会保険協会発行の広報誌へ記事を掲載し、会員事業所への情報提供を行う。

- ① 奇数月に発行される社会保険協会発行の広報誌「社会保険おおい」に記事を掲載し、情報提供を行った。

- <主な掲載記事>
- ・電子申請の推進
 - ・算定基礎届・賞与支払届提出の案内
 - ・「わたしと年金」エッセイ募集
 - ・ねんきんネットの利用促進
 - ・被用者保険の適用拡大

- ② 社会保険協会主催の研修会に講師を派遣し、年金制度の説明や事業への協力依頼を行う。

- ② 社会保険事務説明会

地区	場所	実施日	参加数
大分	ホルトホール大分	R4.9.27	46名
別府	中津市教育福祉センター	R4.10.5	15名

- 記事掲載による情報発信をさらに効果的なものとするため、より分かりやすく読みやすい記事となるよう工夫する。

- 社会保険事務説明会については、事業所の社会保険事務担当者へ対し、制度説明、届書等の記入方法、諸手続きに係る注意点などを説明。説明会は2部制で、日本年金機構と全国健康保険協会大分支部の講師をそれぞれに派遣している。

計画

実績

総括及び課題

社会保険協会

地区	場所	実施日	参加数
別府	国東中央公民館	R4.10.18	6名
別府	別府市社会福祉会館	R4.10.25	17名
佐伯	臼杵市中央公民館	R4.11.2	8名
大分	大分県教育会館	R4.11.9	36名
別府	宇佐市さんさん館	R4.11.16	11名
佐伯	佐伯市健康福祉センター和楽	R4.11.24	17名
日田	アオーゼ日田	R4.11.29	14名

シニアライフセミナー

実施日	場所	参加数
R4.10.12	ホルトホール大分	22名

- シニアライフセミナーについては、参加対象者は、50歳以上の厚生年金保険の被保険者及びその配偶者、または事業所の職域型年金委員又は事務担当者。「社会保険制度の仕組みと手続きについて」のテーマに基づき大分年金事務所より講師派遣を行っている。

計画

実績

総括及び課題

社会保険委員会

① 社会保険委員会主催の会議に出席し、年金制度の説明や事業への協力依頼を行う。

① 新型コロナウイルス感染症の影響もあり開催できていない

事業	地区	場所	実施日	参加数

② 社会保険委員会連合会と共催で年金委員功労者表彰式を開催する。

② 令和4年11月18日に年金委員功労者表彰式を開催した。
※ 詳しくはP 23「ねんきん月間」及び「年金の日」における取り組みで報告

○ コロナ禍により3年間開催が中止されている状況なので、来年度以降は各年金事務所の4地域において社会保険委員会連合会と連携し、開催できるように努める。

自治体・町内会等

① 地域住民への年金制度説明会を開催する。

① 大分市の社会福祉協議会より依頼があり、下記のとおり実施

事務所	日時	場所	主な議題	参加数
大分	R4.10.5	大分市市民後見人養成講座	年金給付について	8名

○ 地域住民のニーズを的確につかみ、地域住民が容易に理解し、かつ役に立つような制度説明ができるように努める。また、今後は地域型年金委員地区連絡会などを通じ、積極的に自治体・町内会などに年金制度の広報活動に協力依頼していく。

計画

実績

総括及び課題

企業・団体等

① 企業や団体の従業員に対し、年金制度説明会を開催する。

事務所	実施月	説明内容	団体数
大分	4月～12月	老齢年金の手続きについて	1
	4月～12月	障害年金制度について	1
	4月～12月	電子申請利用促進	12
別府	4月～12月	老齢年金の手続きについて	0
	4月～12月	障害年金制度について	0
	4月～12月	電子申請利用促進	0
日田	4月～12月	老齢年金の手続きについて	32
	4月～12月	障害年金制度について	0
	4月～12月	電子申請利用促進	17
佐伯	4月～12月	老齢年金の手続きについて	1
	4月～12月	障害年金制度について	0
	4月～12月	電子申請利用促進	0

② 企業や団体に年金に関する情報提供を行うとともに、関係者への周知を依頼する。

② 引き続き「年金相談の予約制」の広報を行った。

マスメディア

① 「エッセイ募集」等について、マスメディアを活用した広報を行う。

① 大分県政記者室に対し、以下のとおりプレスリリースを行った。
 ・令和4年6月16日 令和4年度「わたしと年金」エッセイ募集
 ・令和4年11月8日 「ねんきん月間及び年金の日のお知らせ」

- オンラインによる制度説明会が可能であることを広く周知し、民間企業への制度説明会開催のアプローチをさらに進めていく。
- 今後も取り組みを継続するとともに、企業のニーズを的確につかみ、さらなる連携強化を図る。



- マスメディアを活用した周知広報は、まだ十分にできていない状況にあるため、今後は他の地域の取り組みも参考にしながら、有効な方策を検討する。

○年金セミナー事業

開催に向けたアプローチ

計画	実績	総括及び課題
<p>① 年金セミナーの実施に向け、教育関係機関への協力依頼を行う。</p> <p>② 中学校・高校・大学・専門学校等に対し、積極的なアプローチを行う。 また、アプローチを行う際は、地域年金推進員を積極的に活用する。</p>	<p>① 大分県教育庁、高校教育課、義務教育課へ年金セミナー開催「エッセイ」募集への協力依頼を行った。</p> <p>② 中学校・高校を中心に地域年金推進員による年金セミナーのアプローチを実施した。 ※ 詳しくはP16「学校へのアプローチ」で報告</p> <div data-bbox="658 803 1290 1250" data-label="Image"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、オンラインによる年金セミナーの開催を積極的に推進していく。 ○ 学校側のカリキュラムやニーズを十分把握するとともに、多様な年金セミナーが実施できることを積極的にアピールし、数あるセミナーの中から年金セミナーを選んでいただけるよう努める。 ○ 校長OBである地域年金推進員によるアプローチは非常に有効である。今後も連携を密にし取り組みを進めていく。 <div data-bbox="1810 891 1949 1022" data-label="Image"> </div>

計画

実績

総括及び課題

- ① 新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、各学校の状況や要望に応じた年金セミナーを開催する。

- ① 年金セミナーの開催実績は以下のとおり。

	学校名		実施日	参加数
大分	大分中学校	対面	R4.7.14	66名
	大分市立大在中学校	対面	R4.7.19	300名
	大分市立王子中学校	対面	R4.8.30	200名
	大分経理専門学校	対面	R4.10.17	7名
	大分市立碩田学園（中学校）	対面	R4.11.11	110名
	大分市立大分西中学校	対面	R4.11.28	146名
	府内学園（専門学校）	対面	R4.12.5	9名
	大分市立城東中学校	対面	R4.12.7	205名
	大分市立吉野中学校	対面	R4.12.20	38名
	智泉幼児保育専門学校	対面	R4.12.22	39名
別府	中津市立東中津中学校	対面	R4.11.9	90名
	大分県立宇佐産業科学高校	対面	R4.12.9	98名
	杵築市立杵築中学校	対面	R4.12.14	128名

- コロナ禍ではあるが、直接生徒に説明する方が伝わりやすいと考えるご担当の先生方が多く、オンラインセミナーの件数が伸び悩んでいる。
- 今後Web会議ツールを活用した年金セミナーが増加することを踏まえ、オンラインセミナーに適した資料の作成、操作方法の習得、伝わりやすい説明スキルの習得などについて検討していく。
- 相手方にオンラインセミナーのメリットが実感できるような工夫を重ねていくことが重要である。

計画

実績

総括及び課題

年金セミナーの開催

事務所	学校名		実施日	参加数
日田	大分県立日田三隈高校	対面	R4.12.7	97名
	大分県立玖珠美山高校	対面	R4.12.11	55名
佐伯	大分県立佐伯高等技術専門学校	対面	R4.4.8	31名
	津久見市立第二中学校	対面	R4.9.8	43名
	佐伯市立鶴谷中学校	対面	R4.10.7	173名
	オペレーションズマネージメントスクール	対面	R4.11.10 R4.11.17	13名
	臼杵市立東中学校	対面	R4.12.12	36名

計画

実績

総括及び課題

年金セミナーの開催

<内訳>

	開催数	参加数	オンライン	DVD	対面
中学校	12	1,535	0	0	12
高等学校	3	250	0	0	3
大学・短大	0	0	0	0	0
専門学校 各種学校	5	99	0	0	5
計	20	1,884	0	0	20

- 国民年金制度に一番身近な「大学・短大」でのセミナー開催が、昨年度と同様、大分県内で1度もない状況。また、高校での開催も昨年度比で減少している。高校、大学および短大へのセミナーのアプローチ拡大については、推進員の拡大を含め、今後の課題である。

計画	実績	総括及び課題												
<p>① 地域年金推進員を積極的に活用し、年金セミナー開催のアプローチを行う。</p>	<p>① 学校へアプローチ ・訪問：94校（R4.4.1~12.31）</p> <p>内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>中学校</td> <td>36校</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>45校</td> </tr> <tr> <td>支援学校</td> <td>10校</td> </tr> <tr> <td>専門学校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>短大</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>大学</td> <td>1校</td> </tr> </table>	中学校	36校	高校	45校	支援学校	10校	専門学校	1校	短大	1校	大学	1校	<p>○ 昨年度末より約2倍の訪問勧奨を行っているが、実際の開催件数には結びついていない。今後も、年金セミナーの活性化のためには地域年金推進員の協力が極めて重要であるため、勧奨方法を検討の上、今後も引き続き連携を強化していく。</p>
中学校	36校													
高校	45校													
支援学校	10校													
専門学校	1校													
短大	1校													
大学	1校													
<p>② 地域年金推進員に対する研修会や連絡会議を開催し、意見交換・情報共有を行う。</p>	<p>② 高等学校あて年金セミナー意向調査文書のアドバイス 高等学校への年金セミナーアプローチの打合せ (7月実施)</p>	<p>○ 今後Web会議ツールを活用した年金セミナーが増加することを踏まえ、オンラインセミナーに適した資料の作成や操作方法の習得、伝わりやすい説明の仕方など地域年金推進員と連携していく。</p>												

地域年金推進員

○地域相談事業

計画	実績	総括及び課題																																																					
<p>① 遠隔地の市町村において、定期的に出張年金相談を開催する。</p>	<p>① 各市町村における出張年金相談の開催状況は以下のとおり。 (令和4年4月～12月)</p> <table border="1" data-bbox="513 368 1425 1202"> <thead> <tr> <th>事務所</th> <th>開催場所</th> <th>開催頻度</th> <th>開催数</th> <th>相談件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">大分</td> <td>竹田市</td> <td>毎月</td> <td>9回</td> <td>122件</td> </tr> <tr> <td>大野町</td> <td>毎月</td> <td>9回</td> <td>24件</td> </tr> <tr> <td>三重町</td> <td>毎月</td> <td>9回</td> <td>94件</td> </tr> <tr> <td>庄内町</td> <td>隔月</td> <td>4回</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>湯布院町</td> <td>隔月</td> <td>5回</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">別府</td> <td>宇佐市</td> <td>毎月</td> <td>9回</td> <td>89件</td> </tr> <tr> <td>豊後高田市</td> <td>毎月</td> <td>9回</td> <td>88件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">日田</td> <td>玖珠町</td> <td>毎月</td> <td>9回</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>九重町</td> <td>隔月</td> <td>5回</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">佐伯</td> <td>臼杵市</td> <td>毎月</td> <td>9回</td> <td>76件</td> </tr> <tr> <td>津久見市</td> <td>隔月</td> <td>5回</td> <td>15件</td> </tr> </tbody> </table>	事務所	開催場所	開催頻度	開催数	相談件数	大分	竹田市	毎月	9回	122件	大野町	毎月	9回	24件	三重町	毎月	9回	94件	庄内町	隔月	4回	10件	湯布院町	隔月	5回	11件	別府	宇佐市	毎月	9回	89件	豊後高田市	毎月	9回	88件	日田	玖珠町	毎月	9回	40件	九重町	隔月	5回	15件	佐伯	臼杵市	毎月	9回	76件	津久見市	隔月	5回	15件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底したうえで実施することができた。 ○ 遠隔地にお住いの被保険者・受給者にとって、出張年金相談は極めて重要な相談の機会であり、多くのニーズもあることから、引き続き市町村や関係機関と連携しながら実施していく。
事務所	開催場所	開催頻度	開催数	相談件数																																																			
大分	竹田市	毎月	9回	122件																																																			
	大野町	毎月	9回	24件																																																			
	三重町	毎月	9回	94件																																																			
	庄内町	隔月	4回	10件																																																			
	湯布院町	隔月	5回	11件																																																			
別府	宇佐市	毎月	9回	89件																																																			
	豊後高田市	毎月	9回	88件																																																			
日田	玖珠町	毎月	9回	40件																																																			
	九重町	隔月	5回	15件																																																			
佐伯	臼杵市	毎月	9回	76件																																																			
	津久見市	隔月	5回	15件																																																			

市町村

計画

実績

総括及び課題

特別支援学校

- ① 特別支援学校に対し、障害年金制度にかかる制度説明会のアプローチを積極的に行う。
- ② 感染防止対策を徹底したうえで、特別支援学校での制度説明会の実施する。

- ① 県内の特別支援学校（10校）に対しアプローチを実施。
- ② 下記の会場にて、対面式による制度説明会を実施

管轄	学校名	参加数
大分	大分県立竹田支援学校	10名
別府	大分県立別府支援学校	40名

- 特別支援学校の生徒は、将来、障害年金を受給する可能性が高く、保護者や教職員に対する制度説明は極めて重要であるとの認識から、重点的に取り組みを進める必要がある。

ハローワーク

- ① ハローワークと協力し、求職者や失業者に対する年金制度説明会及び国民年金保険料免除申請にかかる相談会を開催する。

- ① ハローワークにおいて、定期的に求職者や失業者に対する年金制度説明会および国民年金保険料免除申請にかかる相談会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施ができなかった。そのため、ハローワークへ協力依頼を行い、失業保険給付の説明会の際、国民年金加入届および免除申請書が同封された封筒の配布を行っていただいている。

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は予定していた取り組みが十分にはできなかったが、免除申請書の獲得が効率的に行えることから、引き続き取り組んでいく。

○年金委員活動支援事業

計画

実績

総括及び課題

年金委員

① 定期的な研修会・意見交換会を開催する。

事務所	開催日	会議名	年金委員	参加数
大分	R4.7.8	大分年金委員会理事会三役会	職域	5名
	R4.8.24	大分年金委員会理事会	職域	7名
	R5.1.20	大分年金委員会理事会三役会	職域	4名
	R4.11.2	全国年金委員研修会	地域 職域	10名
別府	R4.11.2	全国年金委員研修会	地域	4名
日田	R4.11.2	全国年金委員研修会	地域 職域	8名
佐伯	R4.11.2	全国年金委員研修会	地域 職域	10名

② 各種情報提供及び制度周知の協力依頼を適時行う。

② 年金生活者支援給付金、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた各種対策、新たな制度等に関するリーフレットを定期的を送付し、地域での周知・広報の協力依頼を行った。
また、年金委員活動の推進・サポートを目的に、「地域型年金委員の手引き」「職域型年金委員の手引き」を送付した

地域型年金委員に対しては、偶数月に情報誌「なごみ便り」を送付し、情報提供を行った。

- 年金委員の活動は、職場や地域における制度周知・制度への理解に欠かせないことから、今後もしっかりとその活動をサポートする。
- 現在、地域型年金委員の組織的活動を活性化するため、都道府県単位の「地域型年金委員連絡会」及び年金事務所単位の「地区連絡会」をそれぞれ設置し運営している。
(P21～22参照)



計画

実績

総括及び課題

③ 年金委員の委嘱拡大に向け、事業所や関係機関に対しアプローチを行う。

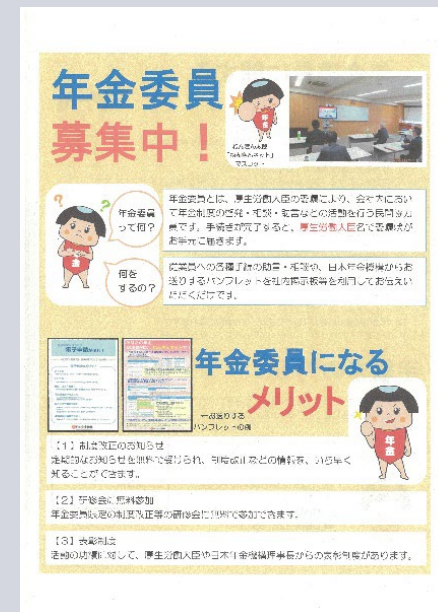
③ 以下のとおり年金委員加入勧奨を行った。
 勧奨結果（委嘱人数）：大分/職域型 58名、地域型 2名
 別府/職域型 29名、地域型 1名
 日田/職域型 18名、地域型 1名
 佐伯/職域型 11名、地域型 1名

事務所	実施日	勧奨内容	年金委員	対象数
大分	R4.6.1	加入勧奨文書発送	職域	226社
	R4.7.28	加入勧奨文書発送	職域	215社
別府	R4.6.17	加入勧奨文書発送	職域	82社
日田	R4.5.24	加入勧奨文書発送	職域	302社
	R4.5.27	加入勧奨文書発送	地域	8名
	R4.6.30	加入勧奨文書発送	職域	364社
	R4.11.21	加入勧奨文書発送	職域	650社
	R4.11.30	加入勧奨文書発送	地域	8名
佐伯	R4.8.3	加入勧奨文書発送	職域	81社
	R4.11.10	加入勧奨文書発送	地域	12名

④ 年金委員功労者表彰式を開催する

④ 令和4年11月18日に開催した。
 ※詳細はP23「ねんきん月間」及び「年金の日」における取り組みに記載。

○ 単に年金委員の委嘱数を増やすだけでなく、年金委員の設置の目的や期待される役割などについて、機構全体として改めて議論する必要がある。



年金委員

計画

実績

総括及び課題

- ⑤ 大分県地域型年金委員連絡会を4半期ごとに開催し、大分県内の地域型年金委員の活動方針を決定する。

- ⑤ 以下のとおり大分県地域型年金委員連絡会を行った。

開催地	開催日	会議名	参加数
大分	R4. 6. 8	第1回大分県地域型年金委員連絡会	14名
	R4. 9. 14	第2回大分県地域型年金委員連絡会	13名
	R4. 12. 9	第3回大分県地域型年金委員連絡会	11名

※会議内容については、別添「令和4年度 大分県地域型年金委員連絡会および地区連絡会」の議事録を参照

- 新型コロナウイルス感染予防対策としてテレビ会議システムによるオンライン会議にて大分・別府・日田・佐伯の4年金事務所による合同会議。大分県内の地域型年金委員活動の計画及び活動報告を行った。
- 今年度が初めての開催となり、年金委員の方々への「連絡会」の方向性などについて分かりづらいところがあるため、今後も引き続き理解を深めていく。

計画

実績

総括及び課題


- ⑥ 地域型年金委員地区連絡会（大分・別府・日田・佐伯）を4半期ごとに開催し、各地区における地域型年金委員の活動方針を決定する。

- ⑥ 以下のとおり地域型年金委員地区連絡会を行った。

開催地	開催日	会議名	参加数
大分	R4. 6. 8	第1回地域型年金委員大分地区連絡会	24名
	R4. 9. 14	第2回地域型年金委員大分地区連絡会	23名
	R4. 12. 9	第3回地域型年金委員大分地区連絡会	17名
別府	R4. 6. 8	第1回地域型年金委員別府地区連絡会	11名
	R4. 9. 14	第2回地域型年金委員別府地区連絡会	11名
	R4. 12. 9	第3回地域型年金委員別府地区連絡会	9名
日田	R4. 6. 8	第1回地域型年金委員日田地区連絡会	6名
	R4. 9. 14	第2回地域型年金委員日田地区連絡会	5名
	R4. 12. 9	第3回地域型年金委員日田地区連絡会	7名
佐伯	R4. 6. 8	第1回地域型年金委員佐伯地区連絡会	7名
	R4. 9. 14	第2回地域型年金委員佐伯地区連絡会	7名
	R4. 12. 9	第3回地域型年金委員佐伯地区連絡会	4名

- 開催日の前段にて大分県地域型年金委員連絡会が行われ、大分県内の活動方針の決定後、その決定事項を基に地区連絡会議にて活動方針を決定する。
- 大分県の連絡会と同様、今年度が初めての開催となるため、年金委員の方々が活動しやすく、また新たな活動ができるよう色々な取り組みを取り入れていくことが重要である。

○ 「ねんきん月間」 及び 「年金の日」 における取り組み

計画	実績	総括及び課題
<p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -40px; top: 50%; transform: translateY(-50%);">年金委員表彰式</p> <p>① 年金委員功労者表彰伝達式を開催する。</p>	<p>① 令和4年11月18日 トキハ会館にて開催。 「新型コロナウイルス」感染防止対策を行い実施した。</p> <p>表彰伝達式は健康保険委員表彰伝達式と合同で行われ、日本年金機構と全国健康保険協会大分支部との共催で行われた。</p> <p>年金委員の表彰者数 厚生労働大臣表彰・・・1名 日本年金機構理事長表彰・・・3名 日本年金機構理事表彰・・・1名</p> <p>健康保険委員の表彰 全国健康保険協会理事長表彰・・・7名 大分支部長表彰・・・16名</p>	<p>○ 感染拡大防止のため、関係者のみの表彰伝達式とした。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -40px; top: 50%; transform: translateY(-50%);">各拠点の取り組み</p> <p>① 各拠点において、公的年金制度を積極的にPRするための独自の取り組みを実施する。</p>	<p>① 市町村、年金委員にポスター・リーフレットを送付し、「ねんきん月間」「年金の日」にかかる取り組みについての周知・広報の協力依頼を行った。また、大分県庁県政記者室へ令和4年11月8日に「ねんきん月間及び年金の日のお知らせ」の内容でプレスリリースを行い、幅広い層への周知活動を実施した。</p>	<p>○ 広く国民の皆様には年金制度を知っていただく大切な機会であることから、より工夫を凝らした取り組みを検討する。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>

計画

実績

総括及び課題

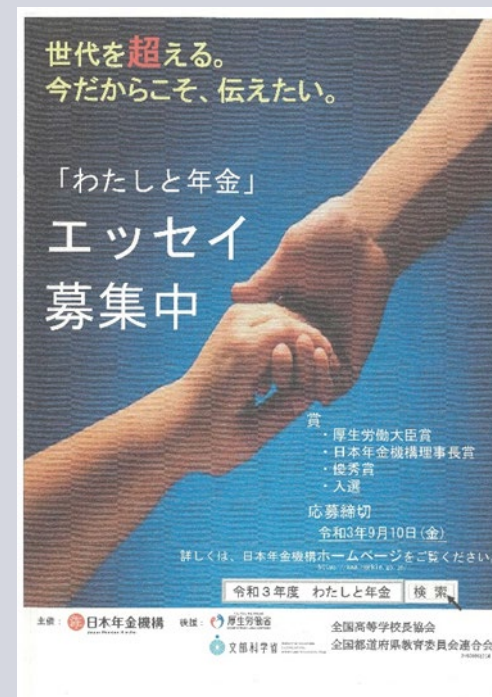
- ① 「わたしと年金」エッセイ募集に係る広報・アプローチを積極的に行う。

- ① 取組結果として以下のとおり

管 轄	学校名	応募作品数
大分年金事務所	大分市大在中学校 (新規)	27
大分年金事務所	大分東明高等学校	146

※今年度の入賞作品につきましては、別添「作品集」を参照

- 地域年金推進員と積極的に連携、大分県庁県政記者室へのプレスリリースなどで夏休みの宿題等として、より多数の募集となるよう、入選作品集の送付など、引き続き広報活動に力を入れる。
- 「わたしと年金」エッセイ入選作品集は、全世代に年金制度の大切さを知ってもらうための有効なツールとなることから、積極的に年金制度の周知広報活動に活用していく。



○地域年金事業運営調整会議

	計画	実績	総括及び課題
運営調整会議	① 地域年金事業運営調整会議を年2回（9月・2月）開催し、取り組み状況を報告する。	① 令和4年9月16日 トキハ会館にて開催 地域年金事業運営調整会議委員11名出席 <主な議題> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業実施結果報告 ・オンラインビジネスモデルの実現 ・新型コロナウイルス感染症への対策 ・令和4年度事業計画 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度第2回から4回続けて書面開催となっていたが、今年度の上期については対面式での開催となった。 ○ 対面での開催となり委員の皆様のご意見がしっかりと伺いできたことは、今後の地域年金展開事業の施策に大きくつなげることができた。 ○ 今後、地域年金事業運営調整会議をはじめ各種会議や研修について、オンラインを活用した開催が可能となるよう機構本部と連携して取り組んでいく。
委員への情報提供	① 地域年金事業運営調整会議委員に対し、年金制度や事業に関する情報提供を行う。	① 地域年金事業運営調整会議委員に、「年金セミナー」や「年金委員活動」にかかる資料・リーフレットを会議資料として提供させていただいた。	
提言への対応	① これまでいただいた会議における提言を取り組みに反映させる。	① いただいた主なご意見について、引き続き検討を進めより効果的な取り組みや新たな観点からの施策につなげていく。 ○ 令和4年度上期の提言 <ul style="list-style-type: none"> ・日本年金機構と全国健康保険協会が連携して双方の委員を拡大 ・大学、専門学校への年金セミナー拡大 ・出張年金相談のリモート化 ・社会保険適用拡大の資料の改善 	

3. トピックス

「令和5年4月から老齢年金の繰下げ制度の一部改正」
特例的な繰下げみなし増額制度が開始されます

制度の内容

令和4年4月から老齢年金の繰下げ受給の上限年齢が70歳から75歳に引き上げられ、年金の受給開始時期を75歳まで自由に選択できるようになりました。

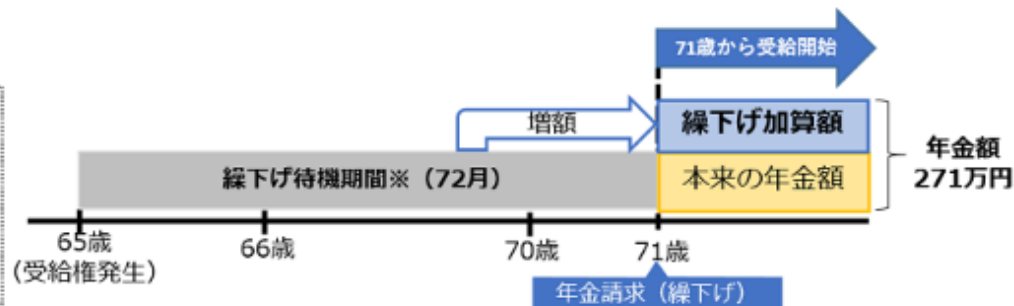
これを踏まえて、令和5年4月から70歳以降も安心して繰下げ待機を選択することができるよう制度改正が行われ、70歳到達後に繰下げ申出をせずにさかのぼって年金を受け取ることを選択した場合でも、請求の5年前の日に繰下げ申出したものとみなし、増額された年金の5年間分を一括して受け取ることができるようになります。これを「特例的な繰下げみなし増額制度」といいます。

改正後（令和5年4月から）

【例：71歳まで繰下げ待機し、71歳時点で年金の請求をする場合（本来の年金額：年額180万円）】

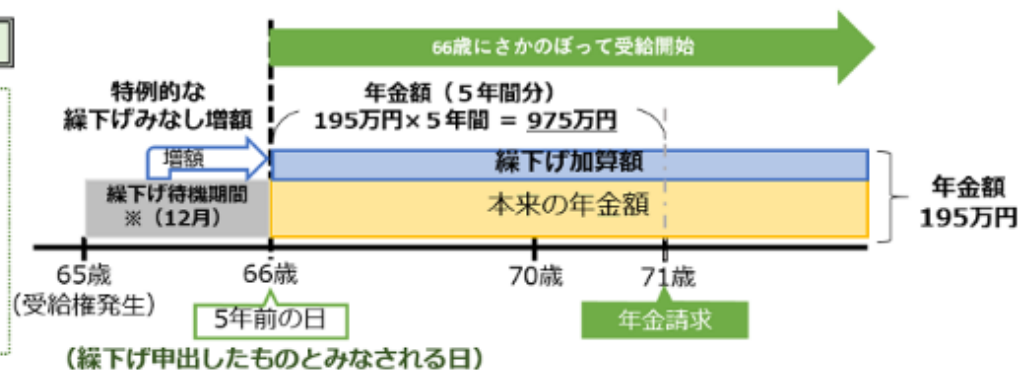
繰下げ申出をするとき

【年金額】
180万円 + 91万円
(本来の年金額) (繰下げ加算)
 $(0.7\% \times 72\text{月} = 50.4\% \text{増額})$
=年額271万円
繰下げ申出の翌月分から受取。



繰下げ申出をしないとき

【年金額】
180万円 + 15万円
(本来の年金額) (繰下げ加算)
 $(0.7\% \times 12\text{月} = 8.4\% \text{増額})$
=年額195万円
請求の5年前の日で繰下げ申出があったものとして5年間分(975万円)を遡って一括受取。



※65歳以降に厚生年金保険に加入していた期間がある場合や、70歳以降に厚生年金保険の適用事業所に勤務していた期間がある場合に、在職老齢年金制度により支給停止される額は増額の対象になりません。

4. 参考資料

- (1) 大分県の厚生年金保険・国民年金保険の状況
- (2) 各年金事務所の国民年金被保険者数及び納付状況
- (3) 地域型年金委員数の推移（令和4年4月～令和4年12月）
- (4) 職域型年金委員数の推移（令和4年4月～令和4年12月）

(1) 大分県の厚生年金保険・国民年金の状況

(1) 加入・納付の状況（令和4年度12月末）

区分	被保険者数				納付率 (※1)	免除率 (※2)
	第1号	任意加入(第1号)	第3号	計		
国民年金	105,888人	1,172人	58,067人	165,127人	70.32%	50.22%

区分	適用事業所数	被保険者数	収納率
厚生年金保険	23,537事業所	269,690人	96.48%

(2) 受給の状況（令和3年3月末現在）

年金の種類		受給権者数	受給年金額合計
国民年金	老齢給付	363,233人	236,401,380千円
	障害給付	25,010人	21,498,163千円
	遺族給付	2,034人	1,526,888千円
	合計	390,277人	259,426,431千円
厚生年金保険	老齢給付	318,176人	168,174,382千円
	障害給付	7,387人	4,774,134千円
	遺族給付	58,147人	46,452,421千円
	合計	383,710人	219,400,937千円

※受給権者数については、国民年金と厚生年金保険で一部重複しています。

(※1) 納付率とは…

「納付すべき被保険者」が有する「納付すべき月数」のうち、「納付された月数」の割合

(※2) 免除率とは…

第1号被保険者のうち、「学生納付特例者・納付猶予者・全額免除者」の割合

$$(4 + 5 + 6) \div (2 + 3 + 4 + 5 + 6)$$

第1号被保険者					
① 任意加入者	② その他	③ 一部免除者	④ 学生納付特例者	⑤ 納付猶予者	⑥ 全額免除者

(2) 各年金事務所の国民年金被保険者数及び納付状況

(1) 国民年金被保険者数（令和3年度）

事務所	第1号		第3号	計
		(再掲：任意加入)		
全国	14,494,591人	(186,661人)	7,929,684人	22,424,275人
九州	1,652,469人	(16,788人)	801,523人	2,453,992人
大分県	108,856人	(1,160人)	61,419人	170,275人
大分	54,101人	(592人)	35,646人	89,747人
別府	35,301人	(363人)	17,215人	52,516人
日田	8,268人	(63人)	3,573人	11,841人
佐伯	11,186人	(142人)	4,985人	16,171人

(2) 国民年金保険料現年度納付率

事務所	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
全国	68.12%	69.25%	71.49%	73.85%
九州	64.79%	66.09%	68.78%	71.31%
大分県	66.87%	67.57%	68.85%	71.52%
大分	66.18%	66.77%	68.42%	71.35%
別府	65.43%	65.99%	66.48%	68.62%
日田	68.83%	70.48%	71.72%	74.51%
佐伯	72.15%	73.04%	75.23%	78.51%

(3) 地域型年金委員数の推移 (令和4年4月～令和4年12月)

		R4.3 末	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12
大分	現存数	42	44	44	44	44	44	44	44	44	44
	前月との比較		2	0	0	0	0	0	0	0	0
	R4.3との比較		2	2	2	2	2	2	2	2	2
別府	現存数	19	19	19	19	20	20	20	20	20	20
	前月との比較		0	0	0	1	0	0	0	0	0
	R4.3との比較		0	0	0	1	1	1	1	1	1
日田	現存数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8
	前月との比較		0	0	0	0	0	0	0	0	1
	R4.3との比較		0	0	0	0	0	0	0	0	1
佐伯	現存数	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8
	前月との比較		0	0	0	0	0	0	0	1	0
	R4.3との比較		0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	現存数	75	77	77	77	78	78	78	78	79	80
	前月との比較		2	0	0	1	0	0	0	1	1
	R4.3との比較		2	2	2	3	3	3	3	4	5

(4) 職域型年金委員数の推移 (令和4年4月～令和4年12月)

		R4.3 末	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12
大分	現存数	810	810	806	823	826	845	845	846	846	850
	前月との比較		0	-4	17	3	19	0	1	0	4
	R4.3との比較		0	-4	13	16	35	35	36	36	40
別府	現存数	425	424	421	424	431	431	430	430	432	433
	前月との比較		-1	-3	3	7	0	-1	0	2	1
	R4.3との比較		-1	-4	-1	6	6	5	5	7	8
日田	現存数	168	168	171	173	177	176	176	176	176	182
	前月との比較		0	3	2	4	-1	0	0	0	6
	R4.3との比較		0	3	5	9	8	8	8	8	14
佐伯	現存数	165	165	153	150	150	152	153	155	155	155
	前月との比較		0	-12	-3	0	2	1	2	0	0
	R4.3との比較		0	-12	-15	-15	-13	-12	-10	-10	-10
計	現存数	1,568	1,567	1,551	1,570	1,584	1,604	1,604	1,607	1,609	1,620
	前月との比較		-1	-16	19	14	20	0	3	2	11
	R4.3との比較		-1	-17	2	16	36	36	39	41	52